

11月



保健だより



平成30年11月1日

保育園夢未来二俣川園

冬は風邪やインフルエンザをはじめとする感染症が流行します。ウイルスは低温・低湿度を好み、人の免疫力は低気温で体温が下がることで低下します。そのため冬はインフルエンザをはじめ、風邪や急性胃腸炎など感染症が流行するのです。

特に乳幼児がかかると重症化する可能性もあり、感染症を「予防」していくことが大切です。11月は保育参観があるので、しっかりと「予防」をして元気に登園をして下さい！



《嘔吐物の処理の仕方 ～正しい知識で感染を防ごう！～》

一昔前は、保育士たるもの子どもが嘔吐したものは素手で受け止めるくらいが美学？！というような風潮がありました。やはり、感染力の強いものだと、保育士の手から他のお子様に感染してしまう事につながります。当園では嘔吐物処理の仕方を徹底し、二次感染の予防に努めています。

- ①嘔吐した子どもに保育士1名が付き添い、その場から離れず他の園児が近づかないようにする。
- ②声を掛け合い、別の保育士が「嘔吐物処理バケツ」を持って来る。
(蓋付バケツの中には、トイレトーパー、使い捨て雑巾、使い捨てビニール手袋、使い捨てビニールエプロン、ビニール袋、ピューラックス、マスクが入っています。それらを着用し処理をします。)
- ③嘔吐物を除去し、ピューラックス(0.1%)で消毒する。嘔吐物は2メートル四方に飛んでいる可能性がある為、その場だけでなく周辺も消毒する(拭き残しが乾燥し、浮遊したウイルスを吸い込んで感染する可能性があるため)トイレの便座、ドアノブ、手すり、食器等はピューラックス(0.02%)で消毒する。
- ④衣服に付いた嘔吐物は固形物を取り除き、二重のビニール袋に入れておく。他の洗濯物と一緒にしない。お迎え時まで蓋付きバケツで保管する。

※そのままお返しするのは大変心苦しいですが、保育園内での二次感染を防ぐため、園内では洗濯をしないよう行政からも指導があります。嘔吐物(下痢も同様です)で汚れた衣服を持ち帰った場合、ご家庭での家族間感染を防ぐため、下記の対応についてご理解とご協力をお願い致します。

《家庭に持ち帰ったら・・・》

- 他の衣類と一緒に洗濯しない！！
 - まずはバケツに次亜塩素酸ナトリウムを作る(誤飲に注意！！)
 - 持ち帰った衣類を漬け置きしてください(2時間くらいで菌は消滅します。その後通常洗濯OKです)
 - 処理時には手袋着用、処理後は手洗いをしっかり行ってください。
- 保育園での消毒には、ピューラックスを使用していますが、なかなか手に入りにくいので、ご家庭では市販の哺乳瓶消毒液や漂白剤等でも同じ成分ですので対応できます。
- 添付の資料を参考にしてください。



消毒液の作り方(次亜塩素酸ナトリウムの希釈液)

		希釈濃度(使用時の濃度)	
		0.02%	0.10%
製品の塩素濃度	1%	50倍 水1ℓ+原液20ml	10倍 水1ℓ+原液110ml
	5%	250倍 水1ℓ+原液4ml	50倍 水1ℓ+原液20ml
	6%	300倍 水1ℓ+原液3.3ml	60倍 水1ℓ+原液17ml
	12%	600倍 水1ℓ+原液1.7ml	120倍 水1ℓ+原液8.4ml

★目安・・・市販の塩素系消毒液は5～6%が多い。ペットボトルのキャップ1杯は約5ml。

●市販の次亜塩素酸ナトリウム濃度の例

(商品名はあくまでも例ですので、商品の説明書をよくお読みください。)

濃度	商品名(例)
1%	ミルトン、ミルクボン等
5～6%	ハイター、ブリーチ、ジアノック等
6%	ピューラックス、アサヒラック等
10%	ピューラックスー10、アサヒラック等
12%	ジアエース、アサヒラック、バイラックス等

